

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

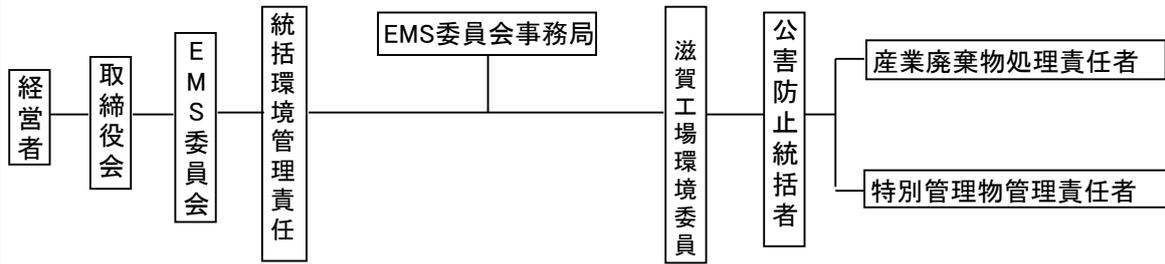
(第1面)

産業廃棄物処理計画書		令和5年6月15日
滋賀県知事 殿		
提出者		
住所 愛知県名古屋市中区錦一丁目2番7号		
氏名 天野エンザイム株式会社		
代表取締役社長 天野源之		
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)		
電話番号 052-211-3034		
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>		
事業場の名称	天野エンザイム株式会社 滋賀工場	
事業場の所在地	滋賀県湖南市日枝町4番地19	電話番号 0748-75-1194
計画期間	令和5年4月～令和6年3月	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
①事業の種類	16 化学工業(その他の有機化学工業製品製造業)	
②事業の規模	資本金 390百万円	
③従業員数	92名	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり	

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



①現状	【前年度（令和4年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり
	排出量	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり
	(これまでに実施した取組) ・排水処理設備の処理効率（凝集率のさらなる向上）を向上させることに より余剰汚泥削減に努めた。 ・廃棄物乾燥機を導入するための試験機での試験を実施した。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり
	排出量	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり
	(今後実施する予定の取組) ・生産性向上（力価値を向上）により廃棄物量を減少させる。 ・廃棄物乾燥機を導入して廃棄物量を減量して行く。	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 種類の表示明確化：判り易い表示にした。 取組：従業員の分別教育を強化した（不適切な分別は担当部署に強く改善を求めた）
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今より分別の強化（各自がひと手間掛けた分解分別の推進）を図って、分別を高めて行く。分別容器の細分化を行う。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
	(これまでに実施した取組)		
—			
②計画	【目標】 —		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
—			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
(これまでに実施した取組)			
余剰汚泥の水分比率を定期的に測定し、凝集剤投入比率を調整して汚泥減量に努力した。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
(今後実施する予定の取組)			
汚泥脱水機の運転方法の再見直しを図り、凝集効率を上げ、昨年実績より汚泥減量化を図って行く。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
	（これまでに実施した取組） 生産設備増強により埋立廃棄物量が多くなったので、削減できるものを見直しを行なった。		
②計画	【目標】－		
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
	（今後実施する予定の取組） 埋立廃棄量を昨年実績より5%削減して行く。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
	全処理委託量	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
	再生利用業者への処理委託量	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） ・汚泥→廃棄物乾燥機を導入検討中 ・廃プラ→分別強化と従業員への分別意識向上の教育を今年も実施した。判り易い表示をして廃棄物分別間違いを減らした。1m ³ コンテナの売渡を実施した。		

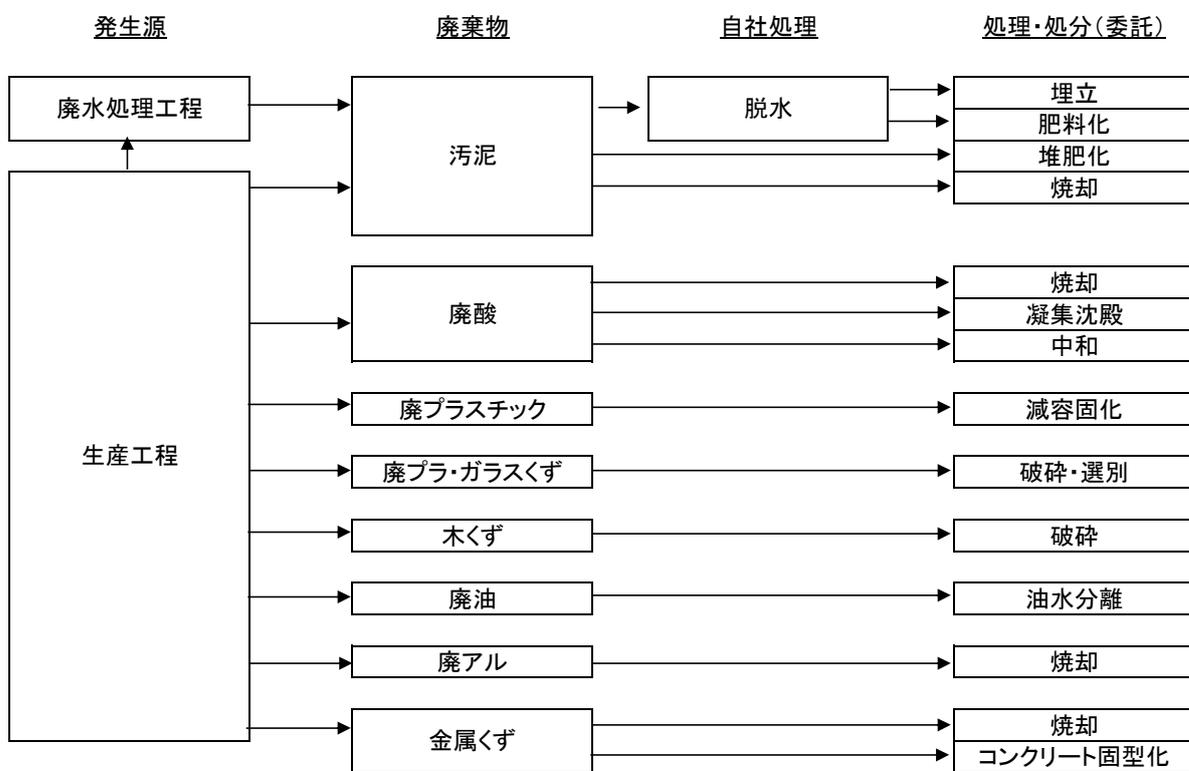
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
	全処理委託量	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
	再生利用業者への 処理委託量	別紙「産業廃棄物の種類と排出量」のとおり	
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・汚 泥→廃棄物乾燥機を導入して廃棄物量を減らす。 ・ガラスくずのリサイクル化を検討していく上で、ガラスの種類の分別化をする。 ・廃プラ→分別強化してリサイクル率を向上させ、今より積極的に減量化する。 			
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙 産業廃棄物の一連の処理の工程



産業廃棄物の種類 現状と計画	汚泥		廃プラスチック		木くず		廃油		ガラスくず		金属くず		廃酸		廃アルカリ	
	現 状 (前年度実績)	計 画 (目 標)														
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																
排出量	14,615.0 t	15,000.0t	41.0t	40.0 t	11.00 t	5.00 t	0.300t	0.20 t	0.00 t	1.00 t	0.00 t	0.2 t	0.0002t	0.20 t	0.00t	0.01 t
これまでに実施した取組																
今後実施する予定の取組																
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項																
自ら再生利用を行った(行う)産業廃棄物の量																
これまでに実施した取組																
今後実施する予定の取組																
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項																
自ら熱回収を行った(行う)産業廃棄物の量																
自ら中間処理により減量した(する)産業廃棄物の量	12,290.1 t	13,000.0t														
これまでに実施した取組																
今後実施する予定の取組																
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項																
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った(行う)産業廃棄物の量	21.2 t	20.0t														
これまでに実施した取組																
今後実施する予定の取組																
産業廃棄物の処理の委託に関する事項																
全処理委託量	2,303.7 t	2,200.0 t	41.0t	40.0 t	11.00 t	5.00 t	0.300t	0.20 t	0.00 t	1.00 t	0.00 t	0.2 t	0.0002t	0.20 t	0.00t	0.01 t
優良認定処理業者への処理委託量	2,303.7 t	2,200.0 t	41.0t	40.0 t			0.300t	0.20 t	0.00 t	1.00 t	0.00t	0.2 t	0.0002t	0.20 t	0.00t	0.01 t
再生利用者への処理委託量	2,303.7 t	2,200.0 t	41.0t	40.0 t	11.00 t	5.00 t	0.300t	0.20 t								
認定熱回収業者への処理委託量																
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量																
これまでに実施した取組																
今後実施する予定の取組																